

令和5年度エネルギー需給構造高度化基準認証推進事業費(省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野))個別テーマ等一覧

番号	テーマ名	事業概要	事業期間 (年)	初年度上限 (円・税込)
1	ガスタービンの脱炭素化に対する安全性についての国際標準化	気候変動対策として、脱炭素化に向けて水素を中心とした新たな燃料を使用するガスタービンの安全性に関する国際標準化を行う。	R5～R7	4,960,000
2	往復動内燃機関の脱炭素化対応に関する国際標準化	カーボンニュートラルの実現のため、脱炭素化に向けてカーボンフリー燃料を使用する往復動内燃機関の安全性、排出ガスの測定方法などに関する国際標準化を行う。	R5～R7	6,104,000
3	SDGsウェルビーイングを目指したファインバブル(FB)技術応用に関する国際標準化	健全な市場の確保・発展のため、ファインバブルの測定方法や応用分野等に関する国際標準化を行う。	R5～R7	30,000,000
4	車載電池の安全性に関する標準化調査	EVの普及が進む中、車載電池からの出火が報告されている。Li析出が要因の一つとして疑われているため、Li析出に関する安全性実験検証や、各国のLi析出に関する評価手法や標準化動向の調査等を行う。	R5	19,008,000

番号	テーマ名	事業概要	事業期間 (年)	初年度上限 (円・税込)
5	自動運転システムの安全性に寄与する技術の国際標準化	様々な社会課題の解決が期待されている自動運転システムを支える安全技術のうち、車両側の安全性および信頼性を確保するための試験方法、性能要件等の国際標準化を行う。	R5～R7	85,000,000
6	バッテリーメタルとしてのリチウムのCFPに関する国際標準化	EV 市場拡大を受け、EV バッテリー原材料のリチウムのCO2 排出量を定義するCFP 算出方法が重要視されているため、公正かつ合理化されたCFP 算出方法の国際標準化を行う。	R5～R7	35,000,000
7	電動車両用AC普通充電器の安全要件や機能要件に関する標準化調査	電動車の普及を受け、各国において高出力や高機能の充電器が出てきている中、充電器に対する適切な安全要件や機能要件の明確化のため、充電器の実験検証や、各国の標準化動向の調査等を行う。	R5	15,000,000
8	文書及びデータの信頼性を維持した相互運用性に関する国際標準化	デジタルトランスフォーメーション (DX)の推進を支える電子文書等の流通に係る信頼性を高めるため、文書、データの作成及び受領作業の組織的な統制を可能とする仕組みに係る国際標準化を行う。	R5～R7	4,306,500
9	鉄鋼における日本の先進技術の国際標準化	クロメートフリー処理、LP 鋼板 (長手方向に直線的に板厚を変化させた鋼板)、スパーク発光分光分析法の国際標準化を行う。	R5～R7	22,100,000

番号	テーマ名	事業概要	事業期間 (年)	初年度上限 (円・税込)
10	パワーモジュール用セラミック基板材料の信頼性評価方法に関する国際標準化	セラミックス基板種による、次世代パワー半導体を搭載するパワーモジュールの長期信頼性に関する試験・検査方法に関する国際標準化を行う。	R5～R7	23,250,000
11	カーボンニュートラルに向けた脱炭素・再生可能エネルギーの有効活用と熱エネルギーマネジメントに関する国際標準化	各種セラミックス蓄熱体の性能や材質について整理し、等級分類の国際標準化を行う。	R5～R7	13,200,000
12	エネルギー関連材料の電気特性評価に関する国際標準化	過電圧測定法の国際標準化を行なう。SOFC（固体酸化物型燃料電池）に使用されるセラミックスの評価試験方法のJIS化、国際標準化を行う。	R5～R7	11,250,000
13	異種材接合の経時物性評価方法に関する国際標準化	CFRP と金属との接合における経時物性評価に必要な疲労試験と亀裂抵抗性試験方法について開発を進め、新規国際規格の国際標準化を行う。	R5～R7	13,999,640

番号	テーマ名	事業概要	事業期間 (年)	初年度上限 (円・税込)
14	ダイヤモンドの熱伝導率測定法の標準化調査	次世代の半導体デバイスとして成長が期待できるGaN on Diamond半導体において、その中核技術の1つであるダイヤモンドの熱伝導率の測定方法にかかる標準化調査を行う。	R5	2,970,000
15	銅および銅合金の応力腐食割れ試験方法に関する国際標準化	アンモニア雰囲気中での伸銅製品耐応力腐食割れ性を統一的に評価するため、日本での実施方法を集約整理し国際標準化を行う。	R5～R7	1,801,800
16	水環境保全に向けたライフラインの健全性診断技術に関する国際標準化	水ビジネスの世界展開と海外水メジャーから国内産業を守るため、上水道配管の設計診断・評価手法をフローにして国際標準化を行う。	R5～R7	1,603,800
17	データサイエンスによる産業インフラ鋼構造物の大気腐食信頼性評価方法に関する国際標準化	国内で蓄積してきた膨大な腐食データ等を活用し、産業インフラ鋼構造物の大気腐食信頼性評価方法をフローにして国際標準化を行う。	R5～R7	1,584,000

番号	テーマ名	事業概要	事業期間 (年)	初年度上限 (円・税込)
18	非平衡腐食性ガスを含む環境下における金属材料の高温腐食試験法に関する国際標準化	ボイラなどの複雑かつ複合非平衡ガス雰囲気中の金属材料高温腐食評価のため、統一的な高温腐食試験法を先駆けて国際標準化を行う。	R5～R7	554,400
19	高温水蒸気酸化試験法に関する国際標準化	燃焼ガスなど高温水蒸気含有雰囲気中での各種耐熱金属材料の統一的な評価のため、水蒸気酸化試験法を先駆けて国際標準化を行う。	R5～R7	1,089,000
20	マルチマテリアル構造体のガルバニック腐食試験法に関する国際標準化	自動車に適用される異種材料のガルバニック腐食を適正に再現する絶対湿度一定の腐食試験法の国際標準化を行う。	R5～R7	435,600
21	希土類（金属・酸化物等）の脱炭素・資源効率性等の評価方法に関する国際標準化	サプライチェーンにおいて必要となる、希土類の脱炭素特性等評価において、経済安全保障上、公開されない情報を含む場合の評価方法の国際標準化を行う。	R5～R7	24,308,207

番号	テーマ名	事業概要	事業期間 (年)	初年度上限 (円・税込)
22	水再利用の環境リスクと省エネ性評価に関する標準化調査	水再利用の効果を総合的に評価する規格を開発する上で方向性を得るため、水再利用に伴う環境リスク低減・省エネ効果等について明確化し、評価方法等について調査を行う。	R5	5,324,000
23	マグネシウム材料中の塩素分析方法に関する標準化調査	マグネシウム製品の耐食に影響を及ぼす不純物として塩素の成分量が要求される場合があるため、塩素分析に関する試験、情報収集を行い、国際標準を含めた標準化の可能性について調査を行う。	R5	2,400,000
24	水処理再生膜の評価試験方法に関する標準化調査	廃棄物削減に大きく貢献する水処理RO膜の再利用を促進するにあたり、再利用RO膜の性能価値を適切に評価する方法について、標準化の方向性を得るために実験及び調査を行う。	R5	4,826,800
25	リサイクル炭素繊維の不純物元素分析法に関する国際標準化	効率的なリサイクルシステム確立に向けて開発した r CF の不純物元素分析法（各種分解法+ICP 質量分析法）の国際標準化を行う。	R5～R7	10,903,885